

FEATURES

30周年記念懇親会
名古屋学院大学同窓会



▲久しぶりの友と歓談を楽しむひととき



▲自動車部OBのみなさん



▲華やかに踊る
サンパチーム



▲美声に聴きほれた
ジャズタイム



▲リズムにのってみんなでダンス



▲ロビーでも談笑の輪に花が咲く



講演終了後、講演会場から懇親会場へとホールが準備される間、ロビーで待機。配られた水割を片手に早々と思ひ出話に花が咲き、またあちらこちらで名刺交換する姿には同窓生の各界での活躍ぶりが感じられました。恩師の先生方も、立派に成長したかつての教え子に囲まれ、嬉しそうに目を細めながら、一人一人と握手を交されたりと、会場準備の間でも和気あいあいと歓談が進んでいました。そんな中、チアホラし聞こえてきたのは「いや、うちも歳いすよ」といった声。講演会は不況日本からの脱出がテーマでしたが、まさに景況の厳しさを痛感させられる場面。

お待ちかねの懇親会は、照明が落とされた場内、中央ステージにたつたひと照らされた30周年記念事業のシンボル「30NGU」のマークがするすると高く掲げられ、晴れやかにスタート。思わぬ演出に会場から拍手が沸き起こりました。30周年記念事業実行委員会塚本久委員長の開会の辞、占部憲一同窓会長の挨拶に続いて内山道明理事長、佐藤自郎学長からご挨拶をいただいた後は記念品贈呈。占部会長から内山理事長へ日録「友粒苑整備事業」メインストリート工事「式」が手渡され、乾杯後は美味しい料理とドリンクに舌鼓み。長く離れていた先輩後輩が感動の再開を果たし、交流を深めるひとときを和やかに楽しみました。

さらに出席者の方々に充実した時間を過ごしてもらいたいと、盛大なアトラクションも催され、最初のバンドによるジャズ演奏では、黒人ボーカルによる素晴らしい美声に皆酔いしました。ラストナンバーは友と語り合う「同窓会」にのびのびの「STAND BY ME」。ステージ前では友人同士肩を組み、音楽にのって体を揺らしながら歌う同窓生もあり、その思い出は強く心に残ったことと思います。観客とステージが一体になった熱唱にアンコールがかかり、再登場には歓声があがり、アンコール曲ではステージに上がって踊り始める同窓生も出たほど。

同窓会のムードもいよいよ高まり、次に登場したのはキュートな女性5人組のサンパチーム。意外な展開に皆びっくり。しかし、サンパチームのリズムと洗練とした健康美溢れる踊りに次第に引き込まれてしまいました。フロアのあちこちでタンサーに誘い出され、緒にステップを踏む同窓生に周囲も拍手喝采。勢いのついたサンパチームはステージからフロアへ降り、会場内を華やかなサンパで包み込み、最初は戸惑っていた同窓生もだんだん引き込まれて。ついにタンサーが先頭になってダンスの輪が作られ、照れつつも次々と肩に手を掛けて、輪は大きく広がってゆきました。

楽しい時間はと瞬く間に過ぎるもので、記念事業は大成功のうちに終わり、閉会後も別れを惜しむ人々がロビーに溢れていました。